

学校教育目標
よく考え、実行力に富む大麻の子ども
 ○よく考え 学習する子 ○くじけず やりぬく子 ○明るく げんきな子 ○はげましい 助け合う子

R7 重点教育目標
すすんで取り組み、高め合う 大麻の子 ~伝え合い 認め合い 高め合い~
目指す子ども像
 A: 自ら学び考えや思いを生き生き表現できる子
 B: 自ら目標を持ち、最後までやり切る子
 C: 自ら進んで元気に活動できる子(挨拶・反応)
 D: 認め合い、思いやりの心で自ら行動できる子

学びに向かう力・人間性

「より良い社会」のつくり手となるために身につけさせたい力

わかるまで粘り強く取り組み、多様な考えを認め合う力

- A 学びを振り返り、学んだことを次の課題や生活場面に生かす
- B よりよく目標達成するために、なにをすべきか工夫する
- C 健康で安全な生活を目指し、主体的に活動や運動に挑戦する
- D 思いやりを持って他者と関わり、相手を尊重した行動をす

15歳の姿

ともに支え合い、夢や可能性に向かって

たくましく生きる子ども

「資質・能力」が活用・発揮され、その過程で「見方・考え方」が鍛えられる

「資質・能力」が活用・発揮され、その過程で「見方・考え方」が鍛えられる

知識・技能

基礎的な学力を身に付け、活用する力

- A 自ら進んで基礎的な知識や技能を身に付ける
- B 自分の努力目標を明確にする
- C 規範意識の大切さを理解する
- D 相手の話や主張、行動を理解する

「見方・考え方」 各教科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方

思考力・判断力・表現力

主体的に自己の考えを持ち、伝える力

- A 根拠を持って主体的に説明できる
- B 目標達成のための具体策を考え行動できる
- C 集団や生活を向上させるため工夫して活動ができる
- D 多様な考え方を認め合い自分たちで解決できる

相手を意識して 大麻8ルール 自分自身の強い気持ちで

- ・あいさつをしよう
- ・正しい言葉づかいをしよう
- ・思いやりの心を持とう
- ・掃除をていねいにやろう

- ・きまりを守ろう
- ・時計を見て行動しよう
- ・忘れ物をなくそう
- ・最後までやりぬこう

学校経営の方針

●資質・能力の確実な育成～子どもが主体となる授業への進化

●授業改革～全教職員による意識化 ・3層の子どもの学習状況を確実に見取り、思考と習熟の両面で一人一人に応じた適切な指導・すべての子どもが主体的に考えて伝え合う授業・質の高い「対話」と迅速大量に考えを共有する ICT 活用による価値交換の実現・意欲を高める課題設定・指導体制の工夫～学年内教科担任制の推進、支援員の効果的な配置 ・客観的データを活用した学力保障～PDCA サイクルの学力向上の推進、タブレットドリルの活用

●「安全」「安心」な学校づくりの確立

●いじめの未然防止・見逃し0の組織的いじめ対応～積極的認知により確実に児童の声を拾い上げ、生徒指導部を起点とした迅速な組織的な対応へ・継続的な職員研修・支援課、SSW 等外部機関との連携 ●不登校児童への対応～コーディネーターを中心とした支援体制の確立、長欠報告書の職員会議への位置づけ ・地域、関係機関との連携 ●人権教育の推進(包括的性教育を起点として) ●各管理マニュアルの総点検 ●日常的な安全点検と環境整備

●支持的風土の学校づくりの推進～すべての教育活動を支える柱・土台

・学年学級経営の充実～4期の経営プログラムによる確実な PDCA サイクルの推進 ・規範意識の醸成～大麻スタンダードによる系統性ある指導 ・特別活動の充実～異学年交流による自尊感情の醸成、児童の主体性を取り入れた活動 ・特別支援教育の充実～CO を中心にした個の課題に対する組織的対応

●健康でたくましい心身づくりの推進

・基本的生活習慣の定着～大麻スタンダードの系統的な指導・体力向上の推進～体育の授業改善(体力テスト課題の準備運動への位置づけ)、上の学年が手本となる体力テスト、週2回の全員遊び、放課後遊びの推奨(環境・用具整備)、縄跳び大会 ・特別の教科「道徳」の指導の充実 ●人権教育を起点とし包括的性教育の視点に立った系統的な指導(教育課程の改善、担任が行う性教育指導の充実・支援課、SSW 等他機関との連携、専門的外部講師の活用)

●地域・保護者との連携と情報発信の充実

・地域の教育資源の積極的活用～有用な人的、物的教育資源の積極的活用 ・CS との協働～学校経営方針の十分な理解促進、協働した教育活動 ・情報発信～HP の改定、連絡網テトルの機能を最大限に活用(各種集約、連絡、アンケート等)・小中一貫～15歳の春の姿を地域と共有

●小中一貫教育の充実・発展による「目指す子ども像」の実現

・小、中学校で目指す子ども像、目標の共有～グランドデザインへの位置づけ ・大麻スタンダードの重点化、学習、生活規律等連続性の確立 ・小中学校教科系統表や各種調査の課題分析を活用した系統的な指導 ・授業研、校内研への相互参加

●今日的課題と教育のプロとしての研修、共通指導の充実

・全教職員の創意と協働で進める学校運営～不断の教育課程の検証、改善 ・相互に学び高め合う研修活動の充実～日常的な OJT、メンター研修 ・ICT 機器活用の研修への位置づけ ・幼保との協働によるスタートカリキュラムの改善 ・コアチームの具体的なアクションプランによる働き方改革の推進